

平成28年度 国民健康保険会計 予算案について

札幌市保健福祉局保険医療部

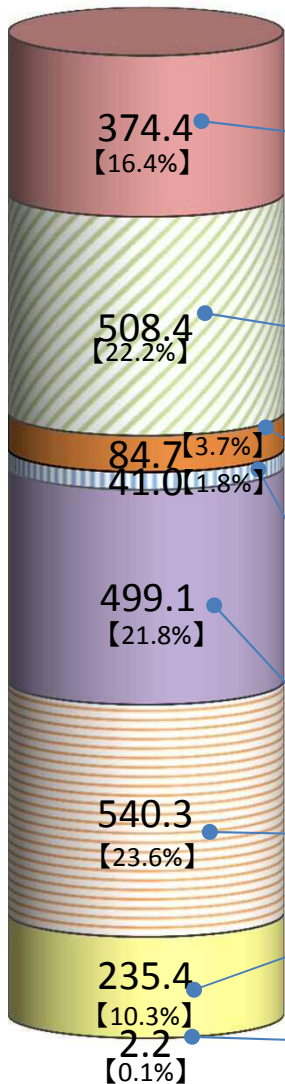


平成28年度国民健康保険会計予算案の概要

注)各項目を四捨五入しているため、合計が総額と一致しない場合がある。

歳入

2,285億円 ⇒ 対前年予算比 ▲19.1億円(▲0.8%)歳出も同額
(単位:億円)【 】は構成割合



保険料 対前年度▲13.5億円(▲3.5%)
世帯数の減等による減
世帯数(全体):H27予291,600世帯→H28予286,600世帯
収納率(全体分):H27決見92.34%→H28予92.84%

国庫支出金 対前年度+7.4億円(+1.5%)

道支出金 対前年度+1.1億円(+1.3%)

療養給付費等交付金 対前年度▲46.9億円(▲53.4%)
退職者医療制度新規適用終了による退職被保険者数の減等

前期高齢者交付金 対前年度+13.1億円(+2.7%)

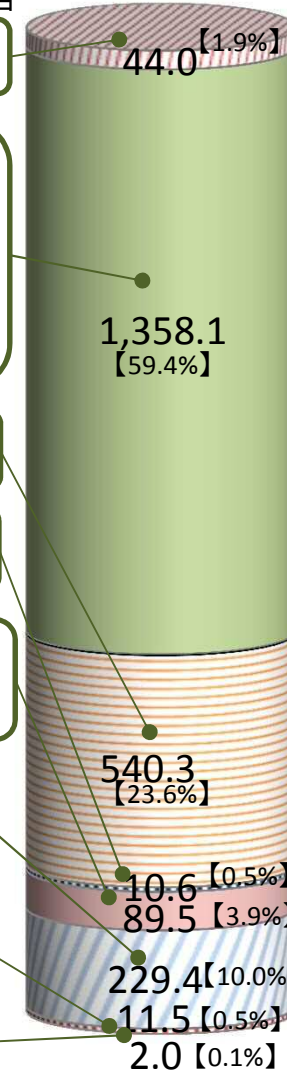
共同事業交付金 対前年度+11.8億円(+2.2%)

一般会計繰入金 対前年度+7.8億円(+3.4%)

その他 保険給付費返還金等

歳出

(単位:億円) **2,285億円**
【 】は構成割合



総務管理費 対前年度+2.8億円(+6.8%)

療養給付費・療養費・高額療養費等
対前年度▲8.3億円(▲0.6%)
被保険者数の減等による減
被保険者数:H27予441,400人→H28予426,500人
一人当たり医療費:H27予371,303円→H28予380,225円

共同事業支出金 対前年度+11.8億円(+2.2%)

保健事業費 対前年度▲0.6億円(▲5.3%)

介護保険給付費納付金 対前年度▲11.7億円(▲11.6%)
介護2号被保険者数の減等による介護納付金の減

後期高齢者支援金 対前年度▲11.9億円(▲4.9%)

その他給付費 出産育児一時金・施術費等

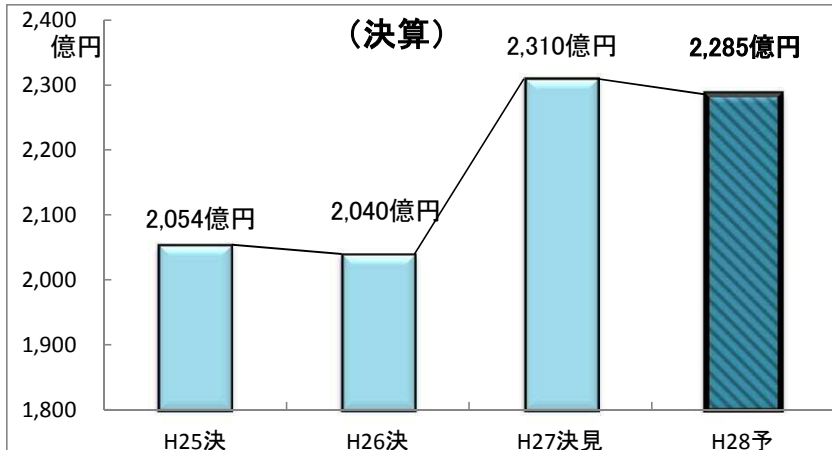
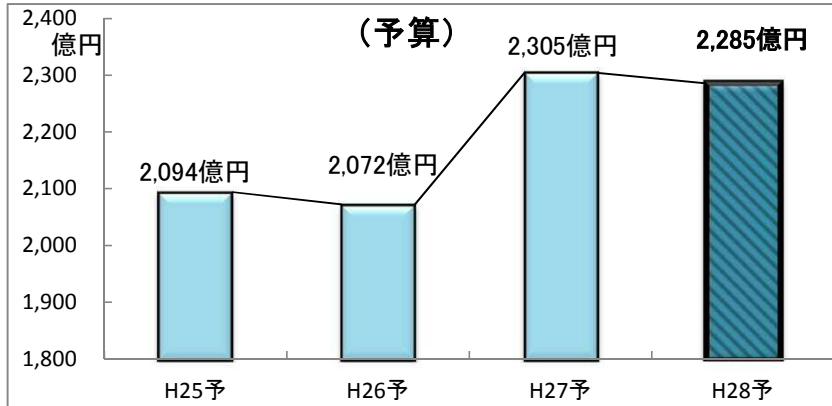
諸支出金、予備費 保険料還付金等

概要

○予算総額

・ 予算総額 2,285億円 (H27予算比▲0.8%)

国保事業費の推移



被保険者数の減等により、予算総額は若干の減少となる

○制度改正案件等

平成28年度予算編成に関わる主な制度改正等は以下のとおり

■ 賦課限度額の引き上げ(平成28年4月～)

- 中間所得層の負担に配慮し、賦課限度額を引き上げ
- 政令が改正され次第、札幌市国民健康保険条例も改正し、政令どおり実施することとしたい。

○ 賦課限度額の引き上げ

区分	現行	改正案
医療分	52万円	54万円 (+2万円)
支援金分	17万円	19万円 (+2万円)
介護分	16万円	16万円 (改正なし)

■ 保険料軽減基準の見直し(平成28年4月～)

- 経済動向等を踏まえた軽減判定所得の見直し
- 政令が改正され次第、札幌市国民健康保険条例も改正し、政令どおり実施することとしたい。

○ 軽減判定所得の見直し

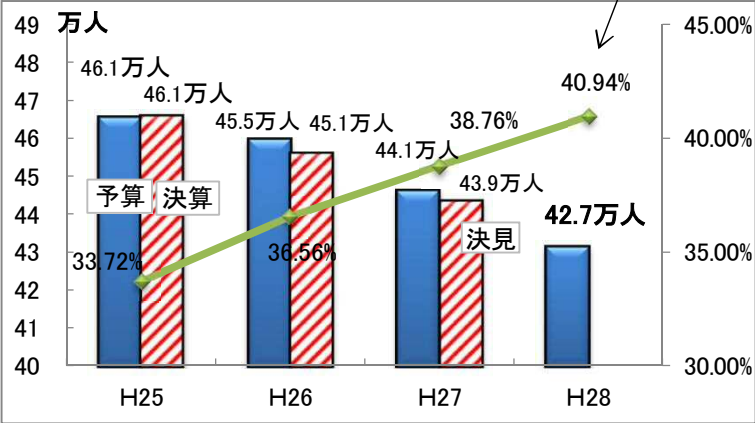
区分	現行	改正案
7割軽減	33万円以下	33万円以下
5割軽減	33万円+ (26万円×加入者数)	33万円+ (26.5万円 ×加入者数)
2割軽減	33万円+ (47万円×加入者数)	33万円+ (48万円 ×加入者数)

▶ 歳 出 ①

○被保険者数

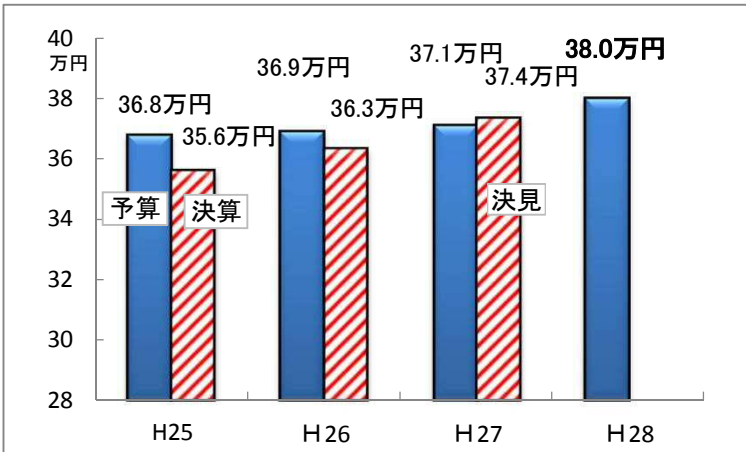
後期高齢者への移行などにより減少

加入者に占める前期高齢者の割合(決算ベース)



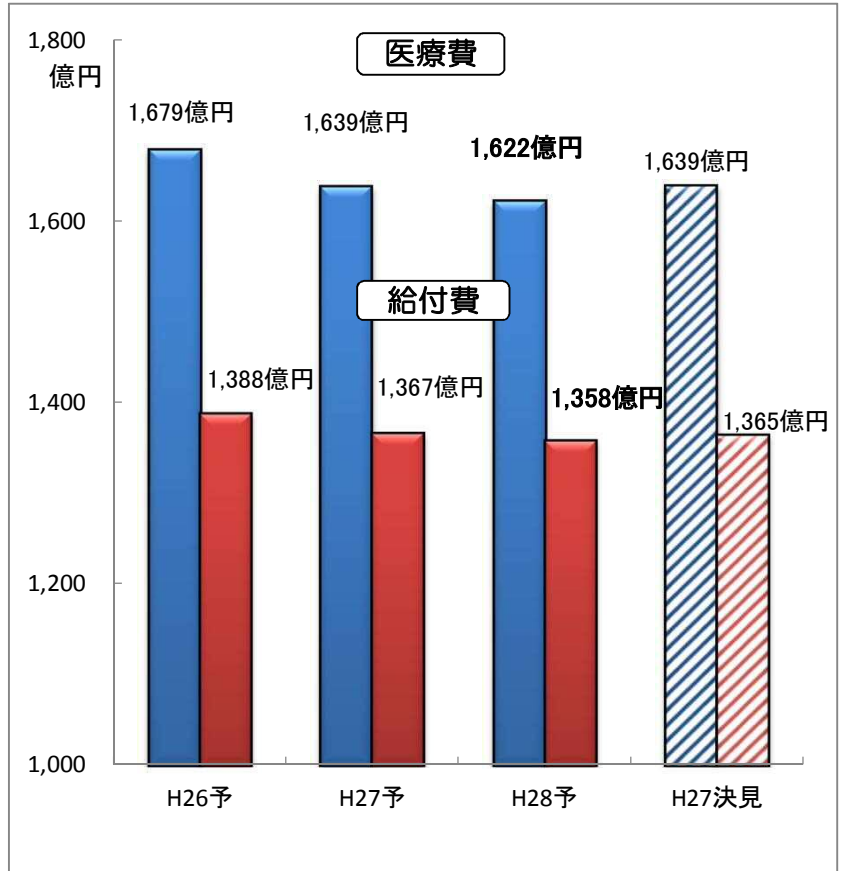
○一人当たり医療費

高齢化などの影響により増加



○医療費・給付費

被保険者数の減少により、医療費・給付費とも減少となった。



▶ 歳 出 ②

○医療費適正化の推進

■特定健診・特定保健指導の強化

【健診受診率向上対策】

○文書による勧奨【継続】

○個別電話勧奨【継続】

■医療費の効率化・最適化を図る取り組みの充実・継続

○レセプト点検等【継続】

○柔道整復等療養費支給申請書の点検【継続】

○ジェネリック医薬品の普及啓発【継続】

○収納対策の推進

■中期収納対策基本方針(平成27年度～平成29年度)に掲げた平成28年度の目標達成に向け収納対策を進める。

○自動車差押え(タイヤロック含む)の実施【継続】

・自動車差押えを実施し、引き続き滞納処分の強化を図る。

○財産調査の徹底【継続】

・納付資力の適正な把握を行うため、財産調査の徹底を図る。

○保険サービス員制度の実施【継続】

・滞納の未然防止対策を強化し、保険料収入を確保するため、保険サービス員制度を継続実施。

○ペイジー口座振替受付サービス【継続】

・口座振替を推進するため、キャッシュカードだけで簡単に手続きができる、ペイジー口座振替受付サービスを継続実施。

アクションプラン

○生活習慣病予防対策事業(国民健康保険) 【新規】

・データヘルス計画の推進による特定健診・特定保健指導の実施率向上を図るとともに、糖尿病腎症の重症化の予防のため、要医療未治療者への受診勧奨など、個別支援の強化を図る。

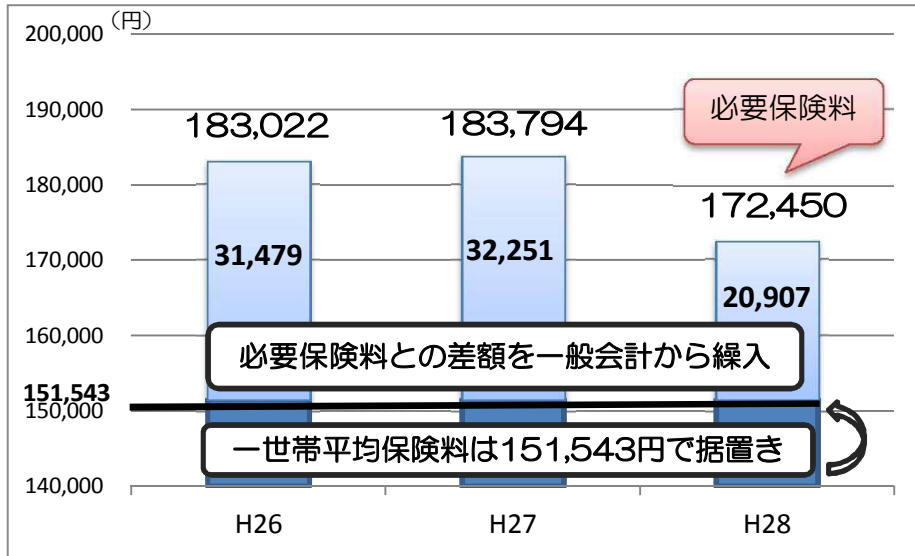
○国民健康保険料コンビニ収納導入事業 【新規】

・納付機会の拡大・利便性の向上を図るためコンビニ収納を導入する。(平成29年6月)
平成28年度:システム改修費

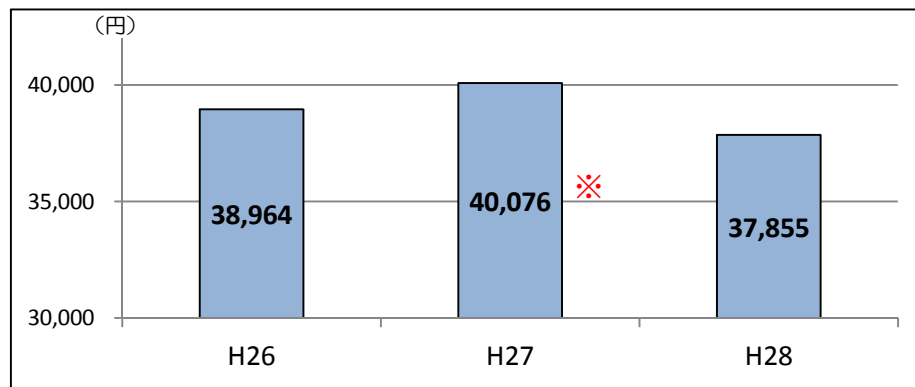


▶ 保険料 ①

○必要保険料の推移（医療+支援金）

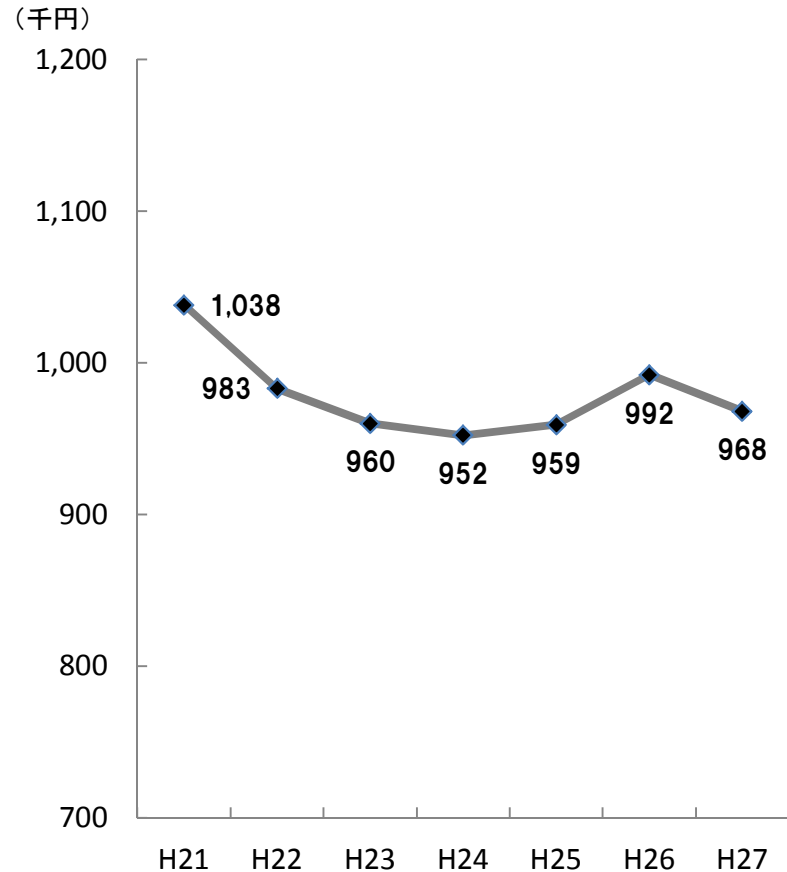


○必要保険料の推移（介護分）



※H27は保険者支援制度の拡充及び介護納付金の減額を反映した結果、確定賦課時における必要保険料は37,295円。

(参考) 保険料率算定時の一世帯平均所得(一般分)



▶ 保険料 ②

○ 予算目標収納率の設定

① 現年度分

・全体分(決見比)

H27決見

92.34%



H28予

92.84%

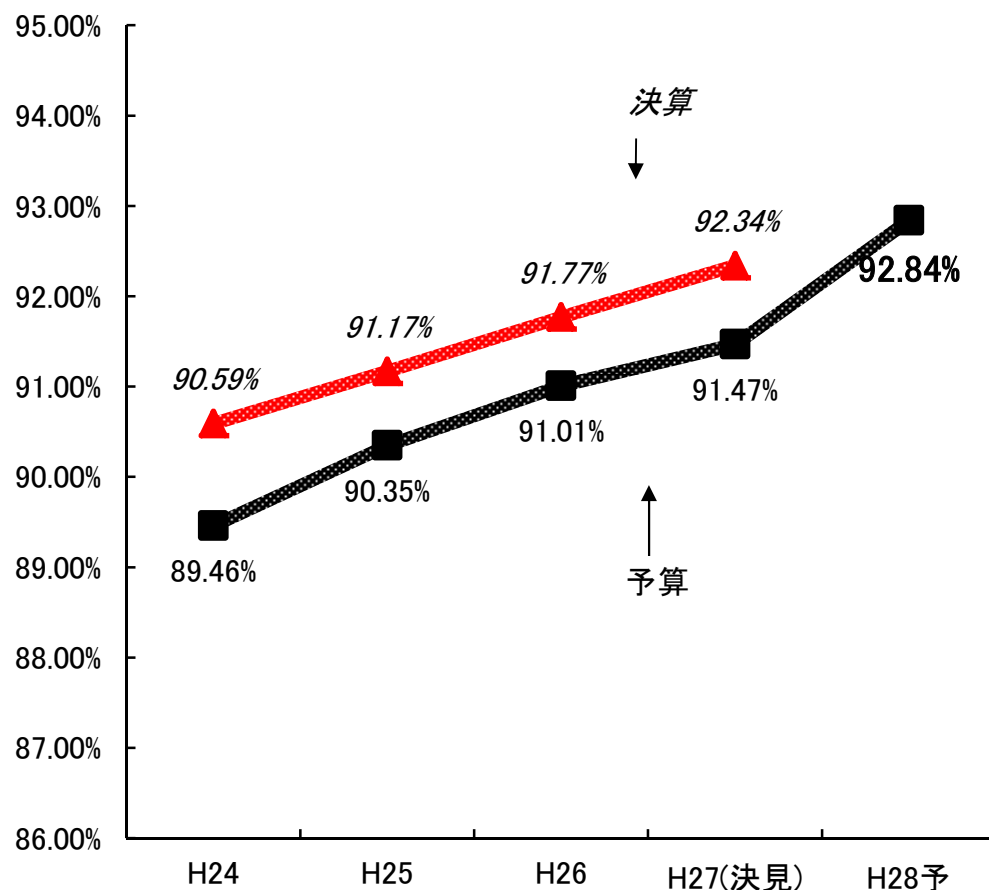
0.50ポイント増

札幌市国保特別収納対策本部において策定した中期収納対策基本方針（平成27年度～平成29年度）において、目標収納率を設定。
現年（全体）分収納率は、平成27年度から平成29年度まで毎年度0.5ポイントずつ上昇。

② 滞納繰越分

収納率同様、滞納額（現滞合計の収入未済額）の圧縮目標を設定。
現年（全体）分収納率は、平成27年度から平成29年度まで毎年度10億円ずつ圧縮。

現年度全体分保険料収納率の推移(予算・決算)

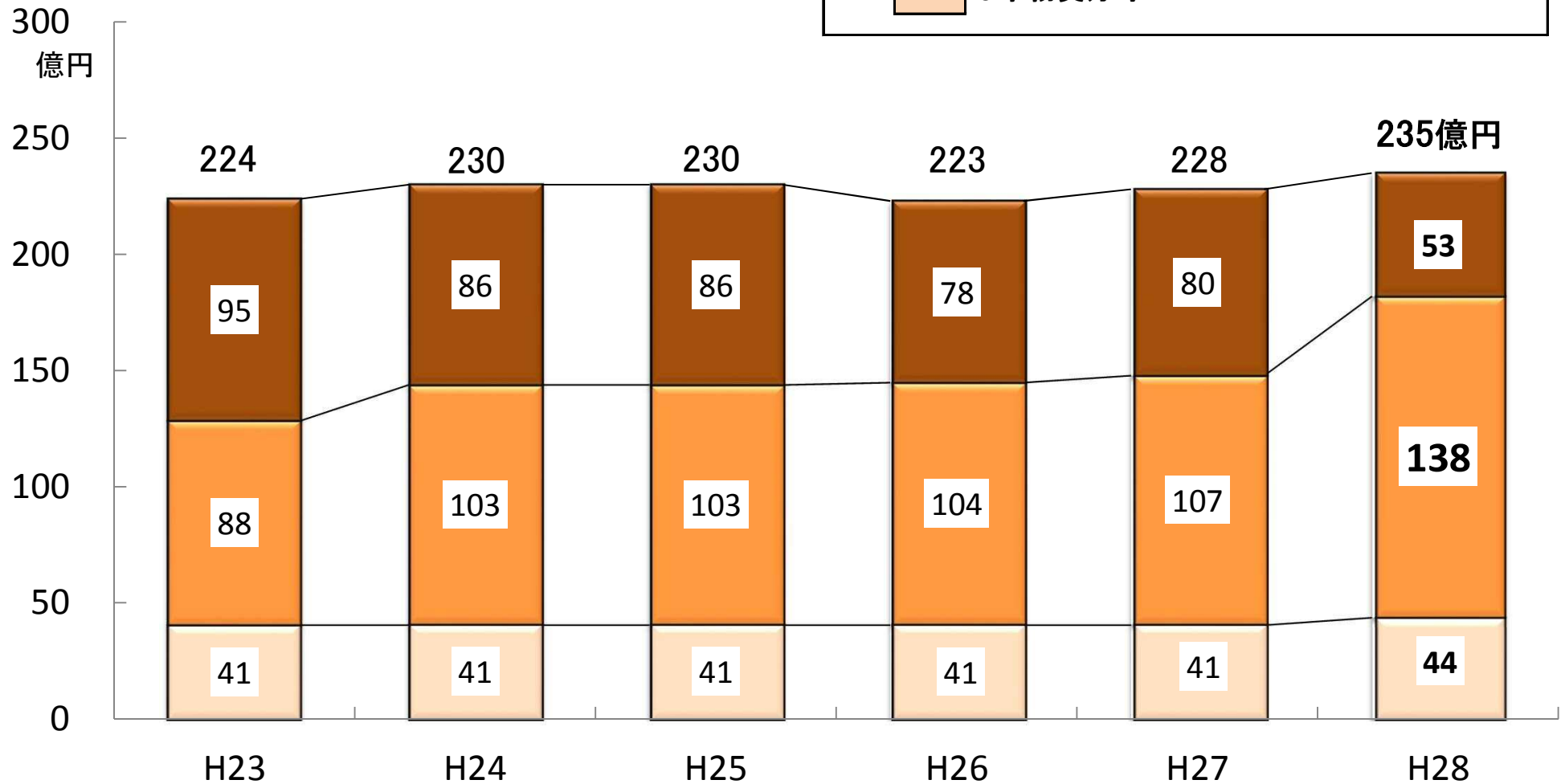


▶ 一般会計繰入金 (予算比)

(各項目を四捨五入しているため、合計が総額と一致しない場合がある。)

は保険料軽減対策分
 は制度分(※)

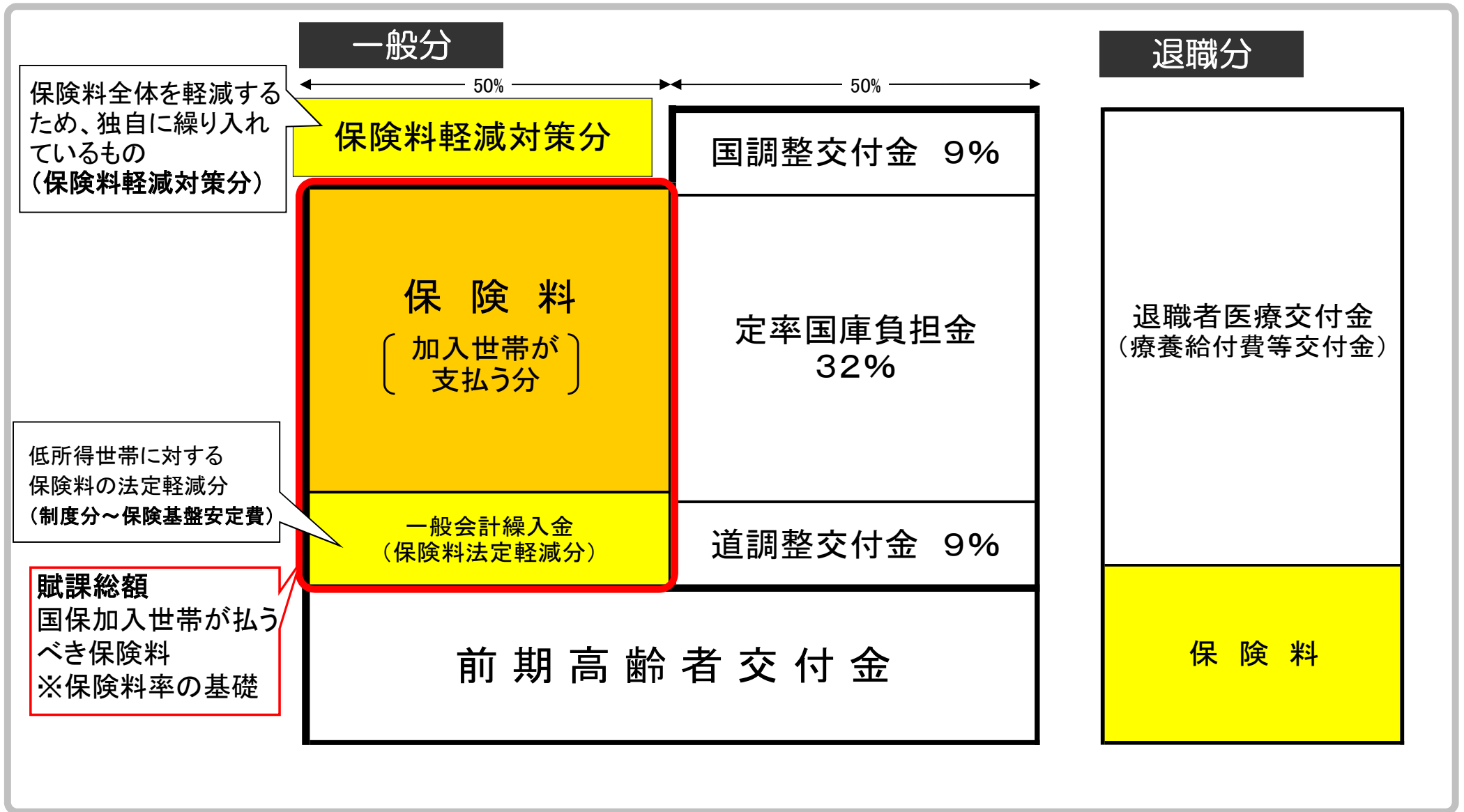
 は事務費分等



※制度分: 保険基盤安定費分(保険料軽減分、保険者支援分)、地方単独事業費分、出産育児諸費分

※H27→H28 制度分+31億円(うち保険者支援の拡充: +28億円)

▶ 給付費の財源構成



※上記以外の給付費(高額医療費共同事業拠出金等)については、他の財源ルールによる。